

Title	内陸アジア言語の研究 XXVIII 裏表紙
Author(s)	
Citation	内陸アジア言語の研究. 24
Issue Date	2009-06
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/22089
DOI	
rights	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

『内陸アジア言語の研究』執筆要項

1. 本誌は、中央アジアと中国を中心に、東は東北アジアから西は黒海沿岸にまで広がる中央ユーラシアの諸民族が用いる様々な言語、及びその言語で書き残された古代～近代の文献資料（出土文書・碑文・宗教典籍など）を、言語学的あるいは歴史学的に扱う論文を掲載する。
2. 原稿は未発表のものに限る。ただし口頭発表したものはこの限りではない。
3. 原稿の長さは自由である。論文の場合、刷り上がり状態で 20 ページ（400 字詰め原稿用紙で 50 枚）を一応の目安とする。ただし、数ページ程度の研究ノートや資料紹介の類も歓迎する。なお、投稿の際、800 字以内の論文概要を付し、原稿の分量（和文原稿の場合、400 字詰め原稿用紙に換算した枚数、欧文原稿の場合は総単語数）と図版枚数について明記すること。
4. 投稿の締め切りは毎年 2 月末日とする。査読の結果は 2 ヶ月以内に通知する。
5. 入稿について
印字したワープロ完成原稿とともに電子データファイルを入稿する。ワープロにない漢字・記号などの部分は当該箇所を空けて印字原稿に朱筆で指示する。写真・図版は版下として利用に堪える鮮明なものを用意されたい。
 - (1) 電子データファイルの形式
原則として、Windows 使用の場合も Macintosh 使用の場合も、Microsoft Word ファイルでの入稿とする。
 - (2) 入稿用ファイルのテンプレート
掲載決定後、編集部からテンプレートを頒布するので、原稿となる電子データをあらかじめ指定されたスタイルに統一した上で入稿すること。
 - (3) その他
論文末尾に執筆者の所属・肩書・専攻、表題の欧米語訳、執筆者名のローマ字表記を付記すること。また、写真・図版等を使用する際は、必ずキャプションを明記すること。以上はあくまでも原則である。不明な点は編集部にお問い合わせされたい。
6. 書式として、以下の統一方針を定める。
 - (1) 使用するフォントについては次の通りとする。和文は「MS 明朝」を、英数字は「Times New Roman」または「Times」を用いる。
 - (2) 句読点は「。」を用い、「、」は用いない。
 - (3) 地の文にはつとめて当用漢字・新かなづかいを用い、旧字体・旧かなづかいの使用は引用文などで必要な場合のみにとどめる。
7. 原則として、著者校正は 1 回のみとし、再校は編集委員の責任とする。校正はあくまでも誤植の訂正にとどめ、原稿の増減は認めない。
8. 抜刷は作成しない。執筆者には本誌 10 部ずつを献呈する。
9. 掲載論文の著作権は執筆者に属する。ただし、3 年経過後に電子化して大阪大学学術情報庫 OUKA（Osaka University Knowledge Archive, URL: <http://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal/>）に掲載する承諾は、本誌発行の時点で得たものとする。

2009 年 6 月

執筆者紹介

森 安 孝 夫 (Takao MORIYASU)

大阪大学大学院文学研究科教授 東洋史学専攻

鈴木 宏 節 (Kosetsu SUZUKI)

日本学術振興会特別研究員 PD (早稲田大学教育・総合科学学術院)
東洋史学専攻

齊 藤 茂 雄 (Shigeo SAITO)

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程在籍 東洋史学専攻

田 村 健 (Takeshi TAMURA)

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了 東洋史学専攻

白 玉 冬 (Bai Yudong)

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程在籍 東洋史学専攻

馮 培 紅 (FENG Peihong)

蘭州大学敦煌学研究所教授 中国史学専攻

中 村 健 太 郎 (Kentaro NAKAMURA)

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了 東洋史学専攻

伴 真 一 朗 (Shin'ichiro BAN)

大谷大学大学院博士後期課程修了 国際文化専攻

著作権について

2008年10月より、本誌は大阪大学附属図書館からの依頼を承け、冊子版発行後3年を経過した記事を電子化し、大阪大学学術情報庫 OUKA (Osaka University Knowledge Archive) に掲載することとなった [URL: <http://ir.library.osaka-u.ac.jp/portal>]. OUKA に掲載された記事は大学として永久保存・公開することとなり、Web上でいつでもアクセスが可能である。

なお、OUKA 掲載による著作権の移動は一切発生せず、附属図書館は著作権者から電子化に伴う公衆送信権と複製権の許諾を得るのみであり、著作権者からの指示があれば当該記事を即時無条件に OUKA から削除するものとする。

内陸アジア言語の研究 XXIV

ISSN 1341-5670

2009年6月1日 印刷

2009年6月15日 発行

責任編集 森安孝夫 (大阪大学)
吉田 豊 (京都大学)
Peter ZIEME (Freie Universität Berlin, BBAW)

発行者 中央ユーラシア学研究会
〒560-8532 豊中市待兼山町1-5
大阪大学大学院文学研究科 森安研究室内
TEL: 06-6850-5103 / FAX: 06-6850-5103
E-Mail: moriyasu@let.osaka-u.ac.jp
URL: <http://www.let.osaka-u.ac.jp/toyosi/sial/index-j.html>

取扱店 株式会社 朋友書店
〒606-8311 京都市左京区吉田神楽岡町8 TEL: 075-761-1285
E-Mail: hoyu@hoyubook.co.jp
株式会社 東方書店
〒101-0051 千代田区神田神保町1-3 TEL: 03-3294-1001
E-Mail: shop@toho-shoten.co.jp
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-6-1 TEL: 06-6337-4760
E-Mail: kansai@toho-shoten.co.jp

印刷所 有限会社 中部ワードサービス
〒440-0865 豊橋市向山台町10-10 TEL: 0532-55-8503
E-Mail: cws@mx1.tees.ne.jp

STUDIES ON THE INNER ASIAN LANGUAGES XXIV

T. MORIYASU, K. SUZUKI, S. SAITO, T. TAMURA, BAI Yudong : Šine-Usu Inscription from the Uighur Period in Mongolia : Revised Text, Translation and Commentaries	1
FENG Peihong : The Famous Clans in Dunhuang and the Qian-Liang Kingdom	93
K. NAKAMURA : Kōnčög İduq Qut Family as Seen in the Colophons of Buddhist Uigur Texts Unearthed in Turfan	131
S. BAN : A Study on the Inscription at Gautama Temple 瞿曇寺 Regarding to the Relationship between Eastern and Western Buddhism in Qing-hai 青海 during the Ming Dynasty	173

The Society of Central Eurasian Studies

2 0 0 9